

青年部だより

社団法人岡山ビルメンテナンス協会青年部広報委員会発行

青年部会発足

業界を取り巻く厳しい環境の変化に伴い、このままでは我々の生き残りの道は閉ざされるであろうとの危機感からかねてより声の上がつていた青年婦人部(現青年部)の発足が、平成七年十月二十日第一回全体会議で正式なものとなった。

加入部会員は、協会員三十七社(現三十八社)のうち二十八社が加入し、同会議において次の通り役員が選出された。

- 部長 「明和ビルサービス」 宮下正晴
 副部長 「西日本テムシー」 矢田隆章
 幹事 「研美社」 油谷直幸
 「大永事業」 小川昌作
 「津山ビル管理」 山口太馬男
 「谷崎備保」 古谷 茂
 「アサヒ化工」 八木始実
 監査 「日本ビル管理」 小山龍行
 顧問 「日本ビル管理」 橋本明始(協会会長)
 また平成七年十二月六日の第二回全体会議において、七年度の事業計画として、二月六日に、研修会を開催する事を決議し、また各委員人事を次の通り定めた。
- 広報委員会委員長 「大永事業」 小川昌作
 同委員長 「中国美装」 山下泰正
 研修委員会委員長 「アサヒ化工」 八木始実
 同委員長 「西日本テムシー」 横山史宏
 企画運営委員会委員長 「研美社」 油谷直幸
 同委員長 「岡山美建」 峰山和昭

青年部だより創刊にあたって

社団法人岡山ビルメンテナンス協会 会長 橋本明始

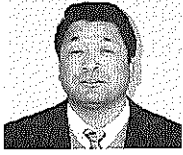


（岡山ビルメンテナンス協会）より創刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

さて、昨年十月、協会組織の中の一部として、青年部会が、会員の皆様のご協力により発足致しました。岡山協会設立当時のビルメンテナンス業界は、世間への認知度も浅く、建物サービス業の一分野に過ぎませんでした。しかし

第一回研修会開催にあたって

（社団法人岡山ビルメンテナンス協会青年部会） 部長 宮下正晴



青年部の第一回目セミナーを開催しましたところ四十名の出席を頂きありがとうございます。

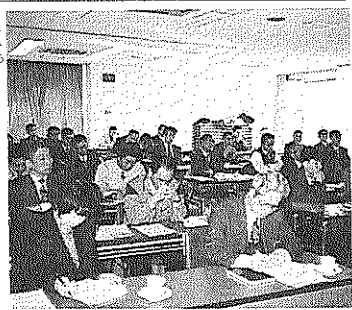
今回はユニシロ様の協力により、ワックス、ドライシステム

等の説明がありました。我が社の求める省力化、材料費の節約ということはいささか説明不足の感がありました。やはりメーカーに求めるのではなく、我々が新しいシステムを作って行かない限り進歩は望めないと思われま。午後より(株)都市管理総合

青年部会主催の第一回研修会が開催される

「建築物保全管理並びに同業務積算基準研修会」

平成八年二月六日、岡山商工会議所四階会議室において、社団法人岡山ビルメンテナンス協会青年部会の主催による第一回目の研修会が開催された。この研修会には、青年部会会員社より三十五名、部会員外会社より五名の、計四十名の受講生が参加され、講義中には、メーカー側講師の方へのするどい質問や、あるいは、意見要望が飛び出すなど、活発なものと成り、青年部発足して初の活動として、順調なすべり出しとなった。



この研修会は、青年部会の企画運営委員会並びに研修委員会の合同により、企画運営されたもので、当日は午前の部と午後の部に分けられ、午前は、ユニシロ化学工業(株)B.M.産業界本部営業課主任の石井春光氏、同じく(株)土居満氏、及びユニシロテック(株)社長土居満氏を講師にお招きし、「新資機材の紹介及びフロアーマンテナンス方式について」を標題に講義していただきました。

また、午後の部は、(株)都市管理総合研究所取締役常務理事の岸正氏を講師にお招きし、「建築物保全業務積算基準について」講義していただきました。

午前の部においては、主に土居氏が演壇に立たれ、石井氏並びに土居氏がそれに補足をされるという形で講義を進められ、内容については、ワックスの種類から始まり、その機能及び洗剤や床材について、

また最近では常識となりつつあるドライシステムにおよぶまで講義をしていただきました。途中各セクション毎にさまざまな質問及び意見要望が飛び出し一時は講師の方々が、返答に戸惑われる場面も発生するなど、活発な内容となりました。

午後後の部は、岸氏により全協発行の「ビルクリーニング作業計画実践教室」積算見取りマニュアルのテキストを使用し、人工計算から脱却し、標準作業時間を基礎とした作業時間積み上げ方式による新しい手法での見積算についての考え方、手法について

各講師の方々へのインタビュー



ユニシロ化学工業 上山晴司氏
 講義された感想

質問の中になかなか難しい発言をされた方もいらっしゃったのですが、もう少し時間があればゆとり説明等させていたかったです。ありがとうございました。

提案事項
 ワックスメーカーだけでなく、機械のメーカーとかタイ

ルメーカーとか、カーペットのメーカーとかあるいは、ビルのオーナーさんとかを講師に招いて行ってもいいと思います。

今日の話は、ケミカルと何ぞやという専門分野に入った感があります。今後続けていたただけるのであれば、その個々のビルメンさんの状態にあったようなシステム作りと言うのが課題になつてくると思います。

中国美装(株) 井上恵介氏
 ドライII水を使用しないと言っているが常識と思つていない。メーカー側は、汚れを抱き込んだ箇所は薄めの洗剤で洗浄すると良い、と言われた時は頭の中が原点に帰った気が致しました。もっと多くの勉強会を開いて頂きたいと思つています。



都市管理総合研究所 岸正氏
 もう少し時間が欲しい所です。ね。そうすれば半分を説明して、半分は皆さんに電卓を使って頂きながら実習という形が望ましいです。今日は、一方的に喋ったので皆様苦痛ではなかったでしょうか。



研修会後の「メント」
 今日正直言つてこれ程集まるとは思つていませんでした。ますます成功だと思つていますが、今日の研修会に参加して、もう今度は、来ないぞと思われた方も、もしかするといらつしやるかもしれません。今後が正念場です皆様のご協力をお願いします。